



報道関係者各位
プレスリリース

2013年2月7日
株式会社神戸デジタル・ラボ

神戸デジタル・ラボ、ネットエージェントとの業務提携にて Android脆弱性診断廉価版（1アプリ20万）のサービス提供を開始

株式会社神戸デジタル・ラボ（本社：兵庫県神戸市中央区、代表取締役社長：永吉一郎、以下KDL）は、ネットエージェント株式会社（本社：東京都墨田区江東橋、代表取締役社長：杉浦 隆幸）との業務連携を行い、Androidアプリ向け脆弱性診断のサービス拡張として、2月7日より業界最安値の1アプリあたり20万円（税込）の診断価格でサービス提供を開始します。

■ゲームアプリだけでなく業務アプリとしての利用拡大と高まる脅威

ゲーム業界ではこれまで、iPhone、Android向けのゲームアプリを数多く世に送り出してきました。ここ最近では、業務効率化や販売促進などを目的にスマートフォンを業務に導入する企業が日々増加しています。その際、端末管理としてマルウェア(※)対策のウイルスチェッカーやMDM（モバイルデバイスマネジメント）という紛失時の管理手法など、端末個体に対して対策が取られるようになってきています。

しかし、スマートフォンの脅威は紛失やマルウェアだけではありません。特にAndroidアプリはプログラムにおけるセキュリティチェックが不十分なものが多く、プログラムの脆弱性からの情報漏えいや改ざん、乗っ取りなどの問題も多く指摘されております。実際、プログラムの脆弱性を起因とした不正なデータ送信や情報漏えいなども事例として報告されており、アプリ提供側・利用側双方の対策が強く望まれています。

また、スマートフォンアプリのマーケットからランダムに選択した1,000アプリに対し、KDLが独自調査を行ったところ、半数以上のアプリに脆弱性が存在する可能性も確認されております。

[注※] マルウェア (Malware)

不正かつ有害な動作を行う意図で作成された悪意のあるソフトウェアや悪質なコードの総称のこと。
日本では「悪意のあるソフトウェア」または「不正プログラム」とも呼ばれています。

■業務提携の背景

これまでKDLは一般企業向けのサービスを主に提供してきましたが、Androidアプリを数多く世に送り出しているゲーム業界にはアプローチ出来ていませんでした。そこで今回のネットエージェント株式会社との連携によって、当サービスのニーズが高いと思われる業界に対しこれまで以上の訴求を見込むことが可能となります。

■Androidアプリ診断サービスの3つの特徴

- (1) 業界最安値(※) : 1アプリあたり20万円(税込)でご提供。
- (2) 最速の診断スピード(※) : 3時間以内に診断可能。診断レポートは2日以内にご提出。
- (3) 最多の診断項目数(※) : クライアントサイドのAndroidアプリ診断としては最多の14項目診断をご提供。

[注※] 神戸デジタル・ラボ独自の調査による

■診断・売上目標

初年度500アプリの診断、1億円の売り上げを目指します。

【ProactiveDefense 公式サイト】

<http://proactivedefense.jp/>

※ProactiveDefense は以下の商標で登録済です。

【サービス紹介ページ】

<http://proactivedefense.jp/Android/Automatic>



【会社概要】

社名 : 株式会社神戸デジタル・ラボ

代表者 : 代表取締役社長 永吉 一郎

所在地 : (神戸本社) 〒650-0033 兵庫県神戸市中央区江戸町93番栄光ビル2F・5F
(東京支社) 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-5-5JR 恵比寿ビル 11F

設立 : 1995 年 10 月

資本金 : 2 億 995 万円

従業員数 : 133 名 (2013 年 1 月現在)

ホームページ : <http://www.kdl.co.jp/>

【本サービスのお問合せ先】

株式会社神戸デジタル・ラボ セキュリティソリューション事業部 担当 : 苦木 (にがき) 、三木

TEL : 078-327-2280 MAIL : info@proactivedefense.jp

※記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

※プレスリリースに記載されたサービスの価格、仕様、内容、お問合せ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。